

## 議会まちづくり検討会議(後期)の取組内容

	テーマ	提言に向けた取り組み事項
<p><b>総務</b> 常任委員会</p>	<p>安全・安心で快適な市民サービスの提供のためにドローンの活用を目指したまちづくり</p>	<p>ドローンについては、近年の目覚ましい開発成果により、その性能が向上し、多方面での利用が可能となってきたため、民間だけではなく、多くの自治体で活用されて、大きな成果を上げ始めている。</p> <p>自治体におけるドローンの活用状況については、災害対策、農林業、有害鳥獣対策、過疎地等への物流、情報伝達、シティプロモーションおよび観光等々と、多岐の分野に及んでおり、さらに、新たな分野においても活用が期待されている。</p> <p>このような現状の中、本市においてもドローンの活用を通じて市民サービスのさらなる向上を目的として、調査・研究を行い提言するため、本テーマを選定した。</p>
<p><b>産業建設</b> 常任委員会</p>	<p>①駅前開発 ②道の駅 ③観光施策 ④ごみの減量化対策 ⑤中小企業支援策 ⑥環境対策 ⑦地域内循環経済政策</p>	<p>市政の所管部門について、現状を把握し、課題の認識を行い、所管事項の調査や他市の事例の分析等、随時、勉強会を開催し議論している。</p> <p>①未来を見据えた駅前開発 ②市内外から人が集まる道の駅 ③アフターコロナの観光施策④ごみが有料化にならないための減量化施策⑤中小企業発展のための支援策 ⑥再生可能エネルギーを利用した環境対策 ⑦漏れバケツにならないための地域内循環経済政策。</p> <p>今期においては上記7項目のテーマに絞って各議員からの意見集約を行っている。最終的には市長への提言を行っていく予定。</p>
<p><b>教育福祉</b> 常任委員会</p>	<p>子育て支援 『子どもの学校教育環境の整備』</p>	<p>学校施設（給食室含む）の老朽化に伴い、今後の維持管理・建て替えの検討が急務となっており、加速する少子超高齢化社会を見据えた学校施設の在り方について検討を進める。</p> <p>誰もが平等に教育を受けることができる環境の構築に向け、障がいおよび医療ケアを必要とする児童・生徒に対する支援体制や施設の在り方を模索し、安心して暮らせる共生社会の実現に取り組む。</p> <p>以上の方向性で調査・研究を行い政策提言につなげていく。</p>

活動期間：令和3年5月から令和5年4月